

わたしたちの主イエス・キリスト御自身と、わたしたちを愛して、
永遠の慰めと確かな希望とを恵みによって与えてくださる、
わたしたちの父である神が、どうか、あなたがたの心を勵まし、
また強め、いつも善い働きをし、
善い言葉を語る者としてくださるように。
(Ⅱテサロニケ信徒への手紙2の 16~17)

Now our Lord Lord Jesus Christ himself, and God our Father, who loved us
and gave us eternal comfort and good hope through grace, comfort your
hearts and establish you in every good work and word.

神は私たちが愛して下さっている。それは、壊れることのない希望と永遠的な慰めを与えて下さることである。

神は、心から願う者に最も必要なものを与えて下さる。すなわち、私たちのそれぞれの心が勵まされ、強められることである。私たちが意気消沈したり、他人の言葉によって打撃を受けたり、また自分の現状に悲観的になって生きていくなくなること、それはすべて私たちの心から自分を支える力が失なわれたゆえである。

この世のすべての問題は、魂を勵まし、支えて間違った道へといかないようにする支えの力がいないからである。私たちの魂をしっかりと支え、いかなる中傷や苦しみにも動かされないというのは、特別な力が与えられていることであり、個人的に神から勵ましを受けていなければならない。

神からの勵ましは力あるものである。人間同士でも、神によりてさまざまの苦しい経験を通してきた人間の言葉には力がある。そのような人から勵ましを受けることは確かに力を受けて、弱くなって立ち上がれなくなっている魂も新たな力が注がれて再び立ち上がることができるようになる。

私たちがよき働きができないということ、言葉においてもよき言葉が出せないのは、私たちが間違った言葉を言わないようにする力がいないからである。よき働きは常にそれを

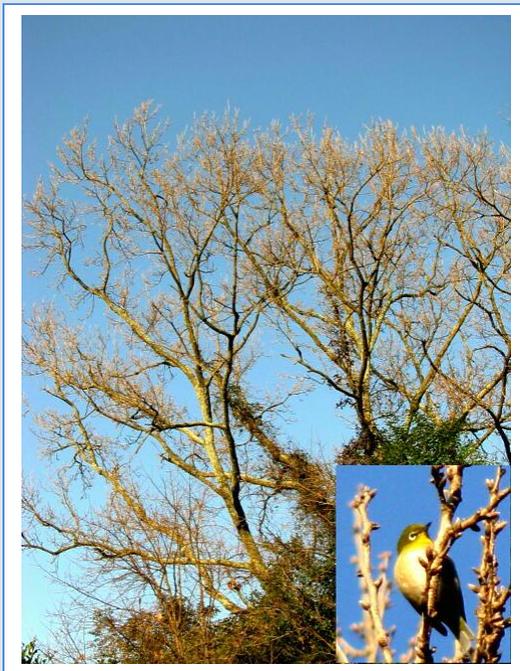
動かすエンジンのようなものが魂に必要である。私たちの魂にも、エンジンがなかったらよき働きへと動き出せないのである。そのエンジンの働きをするのが、神の言葉、神からの励ましの言葉なのである。

弱っている者は、限りなく多い。強そうにみえているものも実は内面ではとても心細く、心を支えるものが切れそうになっていることが多いのである。

この世は私たちの心を弱め、気力を失わせるものが満ちている。毎日の新聞やテレビのニュースを見て、あらたな力を得ているという人はどれほどいるであろう。むしろそうしたものを見聞きすればするほど力が失せていくのを感じるであろう。

そうしたこの世のただなかで、絶えず私たちに力を与えようとされている存在、それが聖書に記されている神であり、その神からいっさいの本質をそのまま受け取られたキリストである。神はつねに私たちに呼びかけておられる。求めよ、祈れよ そうすれば与えられると。

野草と樹木たち



クヌギとメジロ

徳島県小松島市日峰山 2009.1.28

このクヌギの木は、わが家の近くに自生しているものです。私が子どものときからある木ですが、現在ではかなりの大木となり、以前は、夏になるとところどころにしみ出ている樹液にカブトムシや蝶、カナブン、スズメバチなどの昆虫が集まり、夜になるとその付近にはカブトムシが飛ぶブーンという独特な音が聞こえたものです。あの固い樹皮からどうして樹液がしみ出するのか不思議に思っていたのですが、それはボクトウガという蛾の幼虫がそこにいて、穴を開けるからだということがわか

っています。

この木は、春になって新芽を出し、垂れ下がる房状の花を咲かせるとき、また夏の緑、秋の褐色の紅葉のときには、堂々とした姿を見せていつも何かを語りかけてくれる樹木です。

葉を落としたクヌギ、それは冬の間だけの姿です。葉もなく、花もなく、実もない冬枯れの樹木。それでも緑に繁る夏のクヌギや秋の褐色に色づいたクヌギとはべつのよさがあります。青くすみきった大空にたくさんの枝を向けたすがた、それは春になったらたくさんの新たな芽を出すための準備であり、春を待ち望んでいる姿を表しています。枯れたようになっていても、そこには待ち望む強い力が秘められているのです。

新約聖書に、使徒パウロは、非常な苦難が襲ってきて死を覚悟した。しかし、そこから復活させてくださる主を待ち望むようになったと記しています。十字架で処刑されたキリストは、復活のいのちを見つめつつこの世を去っていったのです。

この写真のメジロは、このクヌギの先のほうの枝に来たときに撮影したものです。小鳥たちは、その純真な姿をもって、自由にこの空を飛び回り、美しいさえずりを歌うものもあります。そのすがたに私たちは心惹かれます。

それに対して、人間はこの地上の世界にしばられ、家や仕事、あるいは病院、施設などにいわば閉じ込められている状態にあります。

しかし、実は私たちの本当のすがたはあの小鳥のような自由さが与えられている状態なのです。真理は自由を与えるとあり、また私たちは、この地上の命の終わったあとでは、復活して天使のようになると主イエスは言われました。天使とはまさに、あらゆる束縛から自由になっていて、神の国を自由に飛び翔る存在なのです。

(写真、文ともに T.YOSHIMURA)